

【22_009/技術系メルマガ】『ロング』と『ショート』の違い～補足編～

〇〇さん

こんにちは、クロガキです。

明日から早くも1月3週目に突入、僕もぼちぼち相場の方に徐々に参戦していこうと思います。

大阪で沢山の人に会わせて頂いて、元気も沢山貰ったので張り切って行きます(笑)

「 ■ 『ロング』と『ショート』の違い ～補足編～ 」

先日のライブでも話題にした事の復習になりますが

▼金曜ライブのアーカイブ▼

<https://youtu.be/wzBLR8wSwC4>

「ロングよりもショートの方が動きが早い」なんていう話もよく聞きますよね。

ところが、動き出してから1波完成までの時間をローソク足の本数等で測ってみると

思ったよりも 大きな差はない のです。(実際に確認してみると実感できます)

これ、僕は実際のところ、チャートの見方の癖から「そういう風に見える」だけで

いわゆる『錯視』に近い物だと考えています。

▼(参考画像)錯視の例▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2328119.jpg

図の左上のやつなどは特に有名だと思うのですが、人間の視覚というのは結構いい加減なもので

実際は同じ長さの直線でも、見方が変わるだけで「違って見える」という事が、身近でも非常に多いのです。

これは、チャートを見る僕らの目も例外ではなく、自分の「思い込み」や「見方の癖」によって

同じチャートを見ている 主観的な捉え方 がかなり変わってくるのです。

こう表現すると、なんだか悪い事のように感じるかもしれません。

ですが逆に自分の「見方の癖」がある程度分かってくると、それが最終的に『自分の得意なパターンの認識』に繋がります。

捉え方を変えれば、『自分だけの一貫した視点』を発見する事にも繋がるわけです。

その前提を踏まえたうえで、ロング / ショートの見え方の違いを自分なりに言語化すると

- ・自分はロング / ショートに一貫したほうがやり易い
- ・ロングならこう考え、ショートならこう考えれば攻め易い

といったように、自分なりのトレード戦略に繋げていく事も可能になります。

□ └─┘ 自分の 見方の癖 を知る方法

チャートにおける自分の目の癖を掴むには

これも地道な作業ですが、1枚でも多くのチャートを見て、見えた情報を 言語化 するという作業が欠かせません。

因みに、僕はロングもショートもあまり分け隔てなくトレードする方なのですが

ロング・ショート、それぞれの視点で見た時のチャートの見え方が

言語化してみると結構ハッキリ違っていると分かりました。

それからは、目線を決める際に、ひとつの目安として

ロング・ショートで見た時にそれぞれ感じた違和感を言語化する事によって、監視通貨を絞り込むという考え方を利用しています(笑)

その感覚を掴むには、過去のチャートを見た時に

「この形綺麗だなあ」と感じるチャートを集め、沢山見ながら値動きの根拠を言葉にする

という検証を沢山やる事がオススメです。

参考までに、僕が綺麗だと思うロング・ショート of チャートの例を載せておきます。

敢えて僕のコメントなどは書かずに、素のチャートにしておきますので

自分なりに各チャートの状況を観察し、言語化してみてくださいね。

▼ロングの形▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/220109_long.png

▼ショート of 形▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/220109_short.png

目線を決めるポイントは、当然長期足 of 環境から空間の把握をする という基本動作が大前提
なのですが

(この辺は、デイトレ講座 of メールの方でも扱います 笑)

最後のエントリーを決断する時、ロング・ショート of 理想 of 形のイメージと対比しながら

今仕掛けるかどうかを瞬時に判断する感覚を養うのに、今回の話が役立つと思うので

頭の片隅に置いてもらえたらと思います。

それでは、また次回のメールで！

クロガキ(クロ)